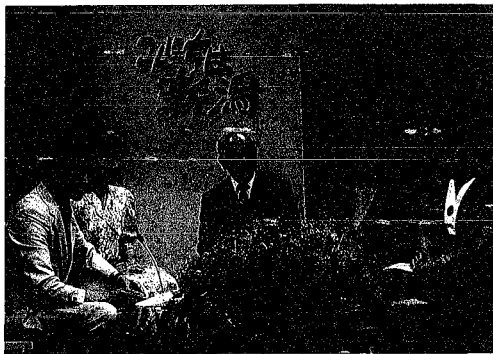


市報1000号の歩み

年	月	主な出来事
30	4	●「新潟市政だより」を創刊(タブロイド判、毎月1回2ページ、自治・町内会を通じ全世帯へ配布)
	4	●市政広報番組ラジオ新潟(現B・S・N)でスタート
	10	●新潟大火で974戸焼失
31	10	●地盤沈下が大きな問題となる
33	4	●新潟駅が現在地に完成
35	3	●「市政だより」が毎月4ページに
38	7	●「市政だより」が通算100号に
39	1	●市政だよりを「市報にいがた」に改名
	6	●第19回国体春季大会開催
	9	●新潟地震で市内各地に大被害
40	1	●米国・ガルベストーン市と姉妹都市締結
	4	●ソ連・ハバロフスク市と姉妹都市締結
	4	●市報が毎月2回発行に
	4	●市政テレビ番組「こんにちは新潟」(B・S・N)がスタート
42	7	●開港百年震災復興記念「新潟大博覧会」を開催
43	9	●市報が毎月3回発行に(配布方法を新聞折り込みに変更)
	10	●「スポーツと音楽都市」を宣言
44	4	●市政テレビ番組「市民のかけはし」(N・S・T)がスタート
	10	●市歌、市民歌ができる
45	5	●点字版「市報にいがた」を創刊
47	8	●関屋分水通水
48	4	●人口が40万人を突破
49	10	●「声の広報」を発行
51	4	●市報が毎週日曜日発行に
	9	●市報通算500号
54	12	●中国・ハルビン市と友好都市締結
55	4	●市報の紙面を拡大(現在のA3判変型)
	7	●「ひろば」を創刊
	10	●人口が45万人を突破
56	11	●市政テレビ番組「おはよう!新潟市です」(T・N・N)がスタート
57	11	●上越新幹線が開通
58	4	●市報の活字を拡大
	7	●上越新幹線開通記念「'83新潟博覧会」を開催
59	4	●市政テレビ番組「新潟市民ガイド」(N・T・21)がスタート
60	3	●上越新幹線が上野駅へ乗り入れ
	5	●市報を増ページ(年間6回、6ページに)
	5	●地域キャンプテンに市の情報を提供
	10	●関越自動車道が全線開通
61	4	●市報が通算1,000号に(另外を含め年間56回発行、部数は1回約18万部)



テレビ・ラジオ放送

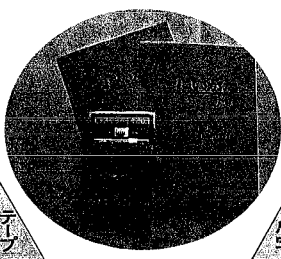
◎ こんにちは新潟(B・S・N) テレビ
毎月第1・3日曜日 午前8時15分~同8時30分

◎ 市民のかけはし(N・S・T) テレビ
毎週日曜日 午前8時5分~同8時10分

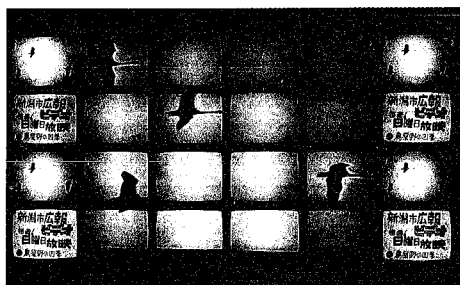
◎ おはよう!新潟市です(T・N・N) テレビ
毎週土曜日 午前9時55分~同10時

◎ 新潟市民ガイド(N・T・21) テレビ
毎週日曜日 午前10時55分~同11時

◎ 9時です 新潟市です(B・S・N) ラジオ
毎週土曜日 午前9時~同9時5分

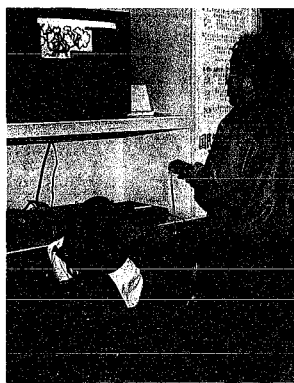


目の不自由な人のため、「点字市報にいがた」とカセットテープによる「声の広報」を毎月1回発行しています



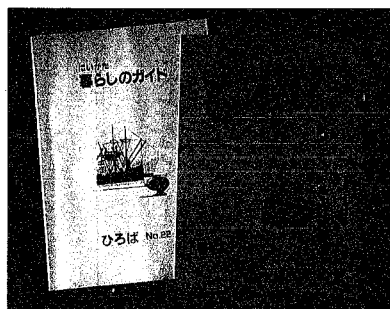
今までの16ミリ市政映画にかえて、今年度から家庭でも手軽に見れるビデオ広報をスタートします。写真はビデオ広報を放映中のプラカ新潟のマルチビジョン

ビデオ



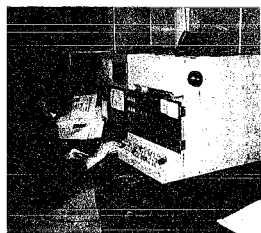
キャプテン

新潟地域キャプテンに、昨年からは様々な情報を提供していただきます

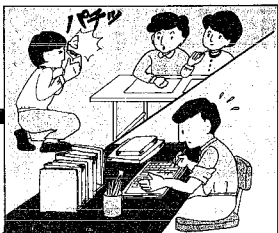


ひろば

市民の皆さんの声を盛り込みながら、市政や身近な出来事を紹介している小冊子「ひろば」を年4回発行。市役所窓口へどうぞ



印刷所で写植機を使って原稿を打ち、3回校正をします

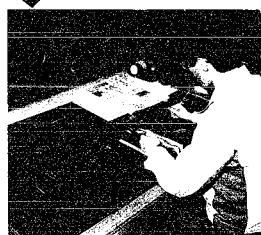


毎週発行のため、取材、写真撮影、原稿整理、校正など、常に2週分を平行して行います

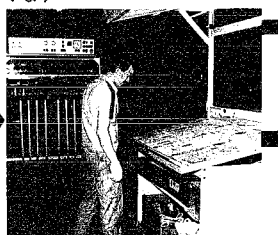


毎週木曜日の午後、市報係5人が集まって編集会議を開きます

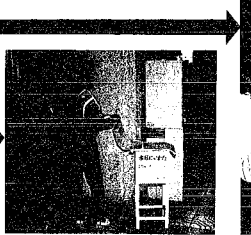
「市報にいがた」が
お手元に届くまで



版下をネガフィルムにし、ごみなどの汚れを修正します



ネガフィルムからアルミ板の刷版を作り、高速印刷機にかけます



市役所窓口、新潟駅、白山駅、バスセンターにも市報を置いてあります



毎週日曜日に新聞折り込みで各家庭に配布されます